

## 事業報告シート

事業分野	—もの・まち・くらし・その他—	登録日	
事業名称	平成22年度 青年建築士の集い（北見大会）		
開催日時	平成22年 6月19日（土）13:00～16:40	会場	北見市芸術文化ホール（きた・アート21）
ふりがな	ほっかいどうけんちくしかい せいねんいんかい		
活動団体名	北海道建築士会 青年委員会		
事業の目的	1. 地域文化史の理解を通じて、より地域の愛着・誇りの向上を図る。 歴史的建築物の資料作成（模型）・保存（図面復元）により、地域文化史伝来に向けた活動。 2. PR力の向上を図る。 実践活動より対象者（地域市民）に対する効果的なPRの模索、プレゼン力を身につける。		
主な事業内容	—講習— 【CPD制度と専攻制度の改変について】 CPD制度オープン化、CPD制度の改正概要、専攻建築士制度の改正概要説明 【法改正（6/1施行）取組について】 平成22年6月1日施行「建築確認手続き等の運用改善マニュアル」の概要説明、省エネ法の届出・維持保全の状況報告についての省エネ計画書支援ツールの紹介 —施設見学— 【歴史的建築物：ピアソン記念館】 【近代機能型建築物：北見信用金庫本店ビル】 —講演— 【ヴォーリーズ建築としてのピアソン記念館】 ピアソン記念館は大正3年に北見市（当時野付牛）に建設された当時では珍しい西洋館。ピアソン夫妻の伝道拠点として多大なる功績や地域住民から愛されていた歴史を学ぶ。ピアソン記念館の設計はウィリアム・メレル・ヴォーリズであることから、建築士として地域の愛着感・誇りの向上を図るPRの題材として歴史建築物概要を学んだ。 —アンケート— 他地域活動例・PRの提案等について、全国大会での報告・今後の地域実践活動の参考を頂く。		
事業収支	会場設営費 資料作成費 報告書作成費 対外・交通費 他		合計 330,000
参加者	本部	青年建築士	合計
	2名	65名	67名
建築士の関り	CPD、法改正講習については実務的な関わりにより各自、詳細把握をするきっかけになった。施設見学では歴史的建築物～近代機能型建築物 見学より、建築物と時間の関わりを体感することが出来た。講演では各地域活動において再確認するきっかけになった。		
今後の検討課題	その時々建築関連の情報提供をする必要性は常々必要でないか？と感じた。各支部の会員数が縮減方向の現在、少数会員でも出来る実践活動の模索が必要である。また建築業種は様々な業種と関わりが求められるため、単一だけでなく全道的な異種業種とのコラボ大会の必要性について検討することが必要と考える。		
連携・協力組織等	講師：NPO法人ピアソン会 理事・事務局長 樋口 和夫 氏		
活動状況写真			
■ 施設見学		■ 樋口氏の講演	
ふりがな	ほっかいどうけんちくしかい せいねんいんちやう かなだみつひで	TEL/FAX	011-251-6076 / 011-222-0924
事業代表者氏名	北海道建築士会 青年委員長 神田光英	E-mail	<a href="mailto:info@h-ab.com">info@h-ab.com</a>
団体所在地	北海道札幌市中央区大通西5丁目11番地	URL	<a href="http://www.h-ab.net/">http://www.h-ab.net/</a>

